

平成20年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告 戦略策定支援(0年目)案件:2008年10月分

番号	実施団体名／今月の事業実施状況／担当者のコメント
1.	<p>小山商工会議所（結城紬デニム）</p> <p>＜今月の事業実施状況＞ 10月8日(水)日本商工会議所 国際部よりアドバイスを受け、在日フランス・イタリア・スイス・ドイツ等 商工会議所の紹介を受け、10月中に各在日商工会議所にアポイントを取った。フランス商工会議所 以外については、すべてJETROへの紹介となり成果を得られなかったが、フランスが第一目的などで 引き続き指導を賜る。 10月20日(月)専門家等チーム会議を開催(第1回委員会の準備及び国内調査準備について)</p> <p>＜担当者のコメント＞ 産地の協力支援に時間がかかったが、11月に委員会の立ち上げができる状況になり、時間をかけたが、良い組織で事業が実施できると思います。</p>
2.	<p>東京商工会議所（リビング デザイン・東京）</p> <p>＜今月の事業実施状況＞ 平成20年10月16日(木)に開催した「第4回ブランド構築委員会・専門委員会 合同会議」において、市場調査の中間報告や自社紹介の続き、次回委員会で実施する都産技研視察会に関する議論を行った。 前回調査対象に設定した、インテリアに应用可能性がある全ての東京の地域資源(特に技術資源)について、具体的な調査先の全容が固まってきた。</p> <p>＜担当者のコメント＞ 技術資源調査を行うにつれ、東京はこれといった特定の地域資源はないが、情報やモノの集積地であることが大きな優位性であることを感じさせられる。</p>
3.	<p>武生商工会議所（越前打刃物）</p> <p>＜今月の事業実施状況＞ 正副委員長会議 水田、増谷、岡田、河野、事務局和田 日 時:10月10日(金)午後5時30分 場 所:武生商工会館3階会議室 ①「JAPAN ブランドフォーラム in 金沢について</p> <p>日 時:10月24日(金) 午後1時30分(午前10時頃武生発) ②デザイナーの招聘セミナーについて (株)ハーズ実験デザイン研究所 代表取締役 村田智明氏</p> <p>日 時:11月15日(土)午後6時 全体会議 (午前11時～ 産地視察ヒアリング) ③日本原子力開発機構のレーザーセミナーについて</p> <p>日 時:10月31日(金)午後7時 武生商工会議所 日本原子力開発機構上席研究主席 (関西光科学研究所レーザー技術利用推進室長) 峰原英介 氏</p> <p>④欧州視察について 2月11日～19日 パリ、フランクフルト、ミラノ</p> <p>⑤来年度の参加者募集について</p>

JAPANブランド・フォーラム in 金沢

日時:10月24日 金沢 ホテル日航金沢

出席者 水田 山田 西本 岡田 加茂 安立 和田

<内容>エキゾチック、高品質、高機能、デザインが日本製に求められる。
それとこれからは安心、安全、信頼(信用)、環境に配慮が求められる。
日本的な香りのするものが必要。展示会後のビジネス対応。評価の情報収集。
地域を知る+自分を知る。
短所、長所を客観的に掴む。専門家の活用。どう売るか、マーケットイン。
産地の革新、イノベーションが必要。

ワーキング会議 平成20年10月31日(金) 19:00~20:30

参加者12名 北陸ベンディング2名 原子力4名 福井県2名 事務局 和田

- ①「原子力機構のレーザー技術開発の紹介と越前打刃物産業への適用について」
19:00 ~ 20:00(60分)
- ②質疑応答 20:00 ~ 20:30(30分)
 - ・製造技術への適用について
 - ・その他

実行委員会 10月31日(金) 20:30~21:30

- ①報告事項 ・JAPAN ブランドフォーラム in 金沢について

10月24日(金) 午後1時30分 6名+事務局

・デザイナーの招聘セミナーについて

(株)ハーズ実験デザイン研究所 代表取締役 村田智明氏

11月15日(土)午後6時全体会議(午前11時~ 産地視察ヒアリング)

- ②欧州視察について

2月11日(水)~19日(木) パリ、フランクフルト、ミラノ

- ③来年度の参加者募集について

市場調査について

<担当者のコメント>

4. 徳島県商工会連合会 (木工と藍と食文化 徳島の伝統を活用したブランド創出)

みなかみ町商工会・東京池袋伝統的工芸センター他への先進地視察

特にみなかみ町商工会のJAPANブランド事業の取組み方について指導を受けた。

ワーキング委員会の開催

「遊山箱」を核に4つの方向性が示され、それぞれから連想される商品の可能性が議論された。早急に専門家・コーディネーターより具体的な商品提案を頂きワーキング委員に提示し、次回委員会までに各自開発可能な商品の絞り込みを行う。

各委員の得意分野が違うため、1点に絞り込むのは難しいとおもわれるが、各委員の開発商品が一致した場合はヒット商品となる可能性を秘めている。

<p>5. 越智商工会（菊間瓦ブランド・いぶし銀プロジェクト）</p>	
<p>10.17～21 東京において市場調査「品々と瓦展」を開催し、アンケートによる消費者の和瓦に対する意見を収集、また直接消費者の生のご意見を伺い、どういった商品なら買いたいのか、どのくらいの価格なら買えるのか、盆栽との組み合わせはどうか、鉢として使いかたについて聞き取り調査した。</p>	
<p>新聞、地方や全国ネットのテレビニュースや番組で取り上げられることになり、今後新たな展開が見えてきそうである。</p>	
<p>6. 高知商工会議所（natural jewelry「SeaProof」海外展開プロジェクト）</p>	
<p>＜今月の事業実施状況＞</p> <p>■第6回 JAPAN ブランド戦略策定委員会開催（10月9日） 現状では珊瑚礁の珊瑚と宝石珊瑚の違いが高齢者以外にほとんど浸透していない。まずは宝石珊瑚の認知度を高めることから着手し、20代～30代の若年層のなかで宝石珊瑚の良し悪しがわかる消費者が増加するにつれ、高額品購入者も増加すると考える。</p> <p>■第7回 JAPAN ブランド戦略策定委員会開催（10月23日） 具来的なプロモーション戦略の煮詰めを行なう。まずはHPを変更する。モデルごとにページを設け、商品のストーリーと、モデルの着用写真を見せる。また、例えば使用者の評価、作り手のお気に入りなど、作り手のこだわり要素を記載して行く。</p>	<p>＜担当者のコメント＞ 参画事業者がいまだ着手したことのない新たな展開に、戸惑いが見られている。反面、既存展開の課題も明確になったことから、計画が具体性を帯びてきた。</p>
<p>7. 鹿児島県商工会連合会（“薩摩の食”ジャパブランド化事業）</p>	
<p>10月14日 第1回目のワーキング委員会を実施。今後の日程について、詳細を詰めていった。 10月16日、21日に開催されるJETRO主催のセミナーに対しては事務局より参加することで決議。 海外市場調査を上海については12月2日～6日、香港・台湾については年明けに実施する事で決議。ワーキング委員の参加を呼びかけた。 コーディネータのアジアネット代表 田中 豊氏を交えた第2回目のワーキング委員会を10月31日開催。 事務局で対応したセミナーの報告と、海外市場調査及び参加事業所に対する商品市場性の検証（求評会的なもの）の実施について検討した。</p>	<p>ワーキング委員会を招集し、実際の調査事業に本格的に取り組む下準備がやっと確定した感がある。 事業計画からすれば大分遅れてしまったが、市場調査の方向性など紆余曲折したのでやむ終えない状況かもしれない。</p>
<p>8. 金武町商工会（琉球紅茶 Japan ブランド形成支援プロジェクト）</p>	
<p>9. 西原町商工会（「黒糖がんにじゅーむら西原」ブランド開発支援プロジェクト）</p>	

平成20年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告 ブランド確立支援事業(1年目)案件:2008年10月分

番号 実施団体名/今月の事業実施状況/担当者のコメント

1. 弘前商工会議所(「津軽打刃物」ブランド展開プロジェクト)

<今月の事業実施状況>

<担当者のコメント>

2. 鹿沼商工会議所(かめまグループ高度微細加工技術ブランド化プロジェクト)

<今月の事業実施状況>

ブランド戦略に基づき、硬脆材料切削加工技術および鹿沼地域の微細加工ソリューションの海外展開・販路開拓を図るため、ドイツを訪問した。訪問先は専門家(シュタインバイス財団技術移転コーディネータ Dr.Messing 氏、東京電機大学松村教授)と鹿沼ものづくり技術研究会(代表:スズキプレシオン鈴木社長)と協議した結果、「基盤技術の販路開拓=BtoB の技術提携・共同開発」という特徴、関連技術を含めた鹿沼の微細加工技術の更なるレベルアップ、有益な企業間ネットワーク作り等の各側面から勘案し、国際展示会、微細加工等に係るドイツ中小製造業、研究機関、工具メーカー、部品・製品メーカー等を選択した。

- 10月23日 ①国際ガラス製造・加工機材展 Glasstec、
②MDI Schot 社(機材展でのブース訪問)

- 10月24日 ①Fraunhofer IPK(公的研究機関)②LMTB社

- 10月25日 ①Fraunhofer IWU(公的研究機関)

- 10月27日 ①Technical Center in Chemnitz(インキュベーション施設)
②3d micro-mac 社(インキュベーション施設内企業)
③METROM 社(インキュベーション施設内企業)
④GESAU-WERKZEUGE 社

- 10月27日 ①Konigsee Implantate 社

国際ガラス製造・加工機材展 Glasstec では、ガラス・モールドの加工技術やガラス接合部品の加工へ鹿沼微細加工技術の活用可能性を見出したほか、MDI Schot 社には硬脆材料切削加工技術をもって提携について可能性を探った。また、ドイツの公的研究機関である Fraunhofer 財団の研究所を2箇所訪問・情報交換を行うことにより、将来的に技術提携による鹿沼の微細加工技術高度化について可能性を探った。また、Fraunhofer 財団はその財源の5割を民間企業からの受託研究でまかなっており、IVAM とともに、関係する企業間ネットワーク拡大にも資すると期待される。

加工関係の中小企業では昨年度も訪問した LMTB 社や Chemnitz 州のインキュベーション施設の企業を訪問したほか、工具メーカーである GESAU-WERKZEUGE 社を訪問し、今後、微細加工工具の発注先として可能性を探った。また、鹿沼の微細加工技術の大きな活躍が期待できるライフサイエンス分野(インプラント関係)である Konigsee Implantate 社を訪問し、部品供給の可能性を探った。



Glasstec 風景



Glasstec 企業ブース訪問
(MDI Schot 社)



企業訪問
GESAU-WERKZEUGE 社)

<担当者のコメント>

10月はブランド化戦略に基づき、実際にドイツにおける販路開拓活動を実施した。鹿沼の微細加工技術をブランド化するためには、単純に技術を売り込むだけではなく、現地での事業展開を見据えた企業間・組織間ネットワーク構築活動、同業種や関係企業とのコラボレーションによる技術の更なる高度化・複合化活動を続けていく必要がある。鹿沼の微細加工技術（特に硬脆材料切削加工技術）も概ね好評をもって迎えられ、シーズプッシュ型の販路開拓として有益な活動であったと思われる。そのような活動の一つ一つの積み重ねが、「鹿沼は最も頼りになる加工ソリューション集団である」というイメージ形成につながっていくと期待され、今回の訪問で、現地で鹿沼の技術を認知させていくために必要なコネクションは整ってきたと考えられる。

一方、基盤技術の「シーズプッシュ型」販路開拓の特徴に目を向けると、既存の成熟産業・成熟市場における「ニーズオリエンティド」な販路開拓と異なる点に注意する必要がある。そのため、今回の訪問を皮切りに、次世代・次の市場を見据えたB to Bの形での共同研究・技術提携が始まることが大切であり、一般的に見知らぬ企業同士・組織同士が関係を構築していくにはサンプル作成や技術テスト等を繰り返す期間が必要になる。このように、本事業を確実な成果に結びつけるには、単純な売買契約締結ではなく、試行錯誤も含めた長いスパンでの「付き合い」が必要になってくる。そのため、今回訪問で協力を得た Steinbeis 技術移転センターや Fraunhofer の専門家・研究者とも協力関係を維持しつつ、ドイツと鹿沼地域の情報を交換し合い、お互いの理解と信頼のもと、息の長い関係構築を目指していきたい。

3. 昭和村商工会(こんにゃくヘルシーダイエツトバーガー開発プロジェクト

～こんにゃく王国・昭和村発！アメリカ文化の象徴であるハンバーガー市場への挑戦～)



10月23日 明和学園短期大学において試作品の官能検査を実施した。生徒38名により検査を実施し、検査結果の集計を行なった。結果については、後日委員会により協議を行う。

10月27日 委員会各委員長及び事務局により、沖縄県の企業訪問を行なった。事前に試作品を送ってあり、その試作品の評価、及び今後の事業展開について協議を行った。

官能検査では、概ね良い評価が多いように思われた。今回の検査での試作品は、冷凍した物を湯せんで温めたものを使用した。非常にやわらかくなりすぎてしまい、食感の部分で低い評価になってしまった。もう一度実施する予定であり、今回は冷蔵品で実施する予定である。

沖縄の企業訪問では、非常に試作品に興味を持っていただき、今後は実験的な商品販売へ向けた協議を行っていく予定である。

4. みなかみ町商工会(みなかみ STYLE 北欧デザイン 『みなかみ meets スカンジナビア』)

ワーキング委員会の前に、過日行われた海外市場調査の報告を4名の方が其々行った。その後、「KIAMIプロジェクト プレス発表のあり方」について検討し、11/6に試作品の発表会を行うことに決定した。場所、時間、進行方法、招待者、記者の呼びかけ等、詳細に内容検討した。

委員会終了後、長岡、林2名で、前橋にある発明協会群馬県支部に出向き、商標登録について相談に出向く。いくつか課題もあり、専門化との無料相談等にも出向いた。

他に

10/9 国内市場調査として、船橋にある「IKEA」、青山にある北欧デザイン家具販売店、展示会予定場所の「テプコ銀座館」の視察。

10/10「Japan Brand Exhibition in Paris」に向けての販売戦略会議に出席。

10/31に、作品も完成・納品され、後は発表会を待つことになった。

海外市場調査の報告で、全員の意見が一致していたのは、北欧デザインと日本のデザインがよく似ていること。

飽きのこないシンプルで良質な家具を大事に扱い、長く使用することによる、環境への配慮等、今後の国内においての商品開発においてのヒントにつながったようである。

	商標登録では、「キアミ」と類似商標があるとのことで、今後の課題になった。
5. 新津商工会議所(花のまち・地域ブランド創出事業)	
	<p><今月の事業実施状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月28日(火) 委員会開催 議題 1, ロシア ハバロフスク市国際見本市の出展報告について 2, 同 アンケート調査について 3, クリスマスローズ国内展示会予定について
	<p><担当者のコメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際見本市に出展しての課題 ①検疫の障壁…根付植物の検疫の厳しさ ②通関の不透明さ…信用度が低い ③物流の問題…輸送費コスト、破損のリスク ④商品の選定…オランダ産との差別化戦略 ・成長率に裏付けられる市場拡大、国民の花消費量の多さ、日本製品に対する人気、信頼という面では、魅力ある市場であることの再認識を得た成果は非常に大きい。
6. 長野商工会議所(「長野発 ナチュラルピュアライフブランド確立プロジェクト」)	
	<p><今月の事業実施状況></p> <p>10月の本プロジェクトでは、先月に行われた展示会での反応を踏まえて、国内、海外においての調査が積極的に行われた。国内の販路に関しては、百貨店ではなく、コンセプトに共鳴できる専門店を中心にマーケットを開拓すべきという意見が出された。海外においては、展示会を中心にバイヤーとの直接交渉が必要であるとのこと。一方でパリ在住の現地調査員久世氏の調査結果として、パリはエコロジー分野への関心度が他のヨーロッパ諸国に比べ低いため、パリ以外での展示会調査を行うなど、幅を広げた調査が必要である。</p> <p>また、20日に第2回目のブランド推進委員会会議が開かれた。展示会の結果報告を踏まえ、今後の事業実施の方向性について委員による意見交換が行われた。当初予定されていた来年1月の「メゾン・エ・オブジェ」への出展は見送りとなり、同時期に三越エトワールで開催される「JAPAN ブランド Exhibition in Paris」への出展は決定となった。また、世界金融危機でアパレル業界全体が伸び悩んでいる時期だからこそ、本当にいいものを根強い形で作っていく必要があるとの意見も出た。</p> <p>製品の製作に関しては、今月は「シルクによる絞り」(通常は絞り加工ができないシルクだが、ポリ乳酸との混紡により形状維持が可能となる)など、あらたなテキスタイルを作り出すことに成功、11月末日での商品完成を目指す。</p>
	<p>国内外の調査結果が出始めたのを機に、今年度の最終的な商品の絞込みができるかと予想される。1月に行われる三越エトワールの商談展示会に向けて調整を図りたい。</p>

7. 静岡商工会議所(ヨーロッパ市場で売れる静岡茶づくり)

<今月の事業実施状況>

- 10月7日(火) 第2回「静岡茶ブランド推進委員会」を開催。
 - ・海外市場調査(EUプロモーション)について
プロモーションの行程・セミナーの内容について承認。
 - ・プロモーション用の茶葉、アンケート調査内容について承認。
 - ・プロモーションツール(DVD)について
収録内容(日本文化・歴史、茶の製造過程等の映像)を紹介。
- 10月13日(月)～23日(木) 海外市場調査(EUプロモーション)実施

日付	調査地域	セミナー会場	セミナー参加者数
15日	ハンブルク	F. P. Wesenberg 会議室	13名
16日	ハンブルク	F. P. Wesenberg 会議室	15名
18日	マインツ	京子 ショールーム	11名
19日	マインツ	京子 ショールーム	16名
20日	ブリュッセル	La Septieme Tasse、ホテルマノス	6名
21日	パリ	SIAL見学。輸入問屋と次年度以降の展開の打ち合わせ	
22日	パリ市内	市内視察	

※ セミナー時間は、試飲・アンケート調査までを含めて、3～4時間

□セミナー内容 ※静岡のお茶のDVDと併せた解説。[現地の通訳が同時通訳]

- 1、ウェルカムドリンク「ティーポットボトル」によるお茶の提供
- 2、静岡の茶文化、歴史、地域の特徴の紹介(中村先生) 約30分
- 3、“茶匠”の仕事を説明(森委員長) 約30分
- 4、お茶の入れ方、飲み方の説明、試作茶の紹介 約30分
- 5、試飲[18種類] 約1時間

□アンケート調査 ※現地の通訳が、事前に翻訳したアンケート用紙を使用 約30分

- 今回のセミナーで興味深かったこと
- 使用茶の評価
- 日本のイメージ
- ティーポットボトルの調査
- 小売店向け今後のお茶販売に向けての課題把握

□活動状況をブログで発信 <http://tea21.eshizuoka.jp/>

海外市場調査(EUプロモーション活動)



<< マインツセミナー >>



<<ブリュッセルセミナー>>



<<SIAL>>

8. 堺商工会議所(堺の伝統産業の世界ブランド化)

<今月の事業実施状況>

- 10月10日(金)、第2回堺の伝統産業の世界ブランド化プロジェクト推進委員会を開催。コンセプトを「薄く剥ぐように切る」とし、「鎚」を有する刃物を発信することになった。
- <市場調査について>
 - ・最終販路開拓先を、市場取引のルール等に成熟したアメリカ・ニューヨークにすることとなり、ニューヨーク現地の富裕層を対象とすることになった。
 - ・これにあわせ、外国人に対する刃物の素材に関する調査については、日本文化に比較的慣れ親しんでいる国内のアメリカ人に対して実施し、和包丁を使用する日本の文化をアメリカにどの

	<p>ように適合させるかをさぐることにした。</p> <p>■10月17日(金)・18日(土)、東京都大田区産業振興協会主催の「おおた商い観光展2008」に出展刃物の「鎚」に関するアンケートを行った。 <「鎚」に関するアンケートの結果について> ・アンケートに答えたのは大多数が日本人であったが、約7割の人々が「鎚」の存在を知らなかったことがわかった。今後の事業展開のヒントにしたい。</p>
	<p><担当者のコメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初、販路開拓先として、ロシア(モスクワ)、もしくはアメリカ(ニューヨーク)としてきたが、10月の委員会で販路開拓先をアメリカ(ニューヨーク)に決定した。 ・ロシアに関しては、市場調査の候補であったが、研究を重ねるうち、将来有望な市場ではあるが、現時点では市場取引のルールが未成熟であることが判明してきたため、今回の対象から除外した。
	<p>9. 東広島商工会議所(西条酒JAPANブランド確立事業)</p>
	<p><今月の事業実施状況></p> <p>10月10日～12日 海外メディアのプレスツアー実施及びプレスセンター開設 在日外国人や外国人観光客をターゲットとした海外メディアの取材対応と、海外及び国内メディアを対象としたプレスセンターを開設した。</p> <p><参加媒体> 「WEEKENDER」「J SELECT」 <取材内容> 西条酒 JAPAN ブランド確立事業概要、酒蔵(醸造工程・設備等)、認定酒試飲、酒まつり</p> <p><プレスセンター来訪メディア> 中国新聞社、醸造産業新聞社、Cookand(韓国)</p> <p>10月20日 西条酒造協会の各酒蔵販売担当者会議で、対象者に西条酒 JAPAN ブランド確立事業概要を説明し、販売店等の現在の状況を聞いた。</p> <p>10月27日 展示会部会(第3回)で、TEPCO 銀座館 JAPAN BRAND イベントと、NTT ユーザー協会主催の電話対応コンクール全国大会「広島の特産品コーナー」へ出展することを決定した。</p> <p>10月31日 商品開発・情報拠点企画部会(第2回)で、情報発信拠点について議論し、宮島に設けることを決定した。</p> <p><展示会等予定></p> <p>11月13日～12月23日 「TEPCO 銀座館 JAPAN BRAND イベント」出展 (11月14日 レセプションにおいて、西条酒を提供及び説明)</p> <p>11月21日 (財)日本電信電話ユーザー協会第47回電話対応コンクール全国大会「広島の特産品コーナー」出展</p>
	<p><担当者のコメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞紙上等で取り上げられることで、販売店などから問い合わせや企画提案が増えている。これらの情報を収集し、購買に結びつく戦略的な販売促進計画を立てることが重要である。
	<p>10. 人吉商工会議所(球磨焼酎を世界ブランドに)</p>
	<p><今月の事業実施状況></p> <p>10月10日(金) プロジェクト実施委員会・企画部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月に実施した市場調査の集計結果を出席者へ説明。調査結果に関して、今後の参考となるという意見が出される。 ・11月実施予定の東京でのテイasting会(市場調査)について議論。対象を飲食店、酒類卸・小売店、一般消費者の3回行うことに決定した。日時、会場等は来場者の利便性を考慮に入れ、酒造組合で調整し、事業を実施していくことに決定した。 ・その他の事業に関する取り組み状況等の報告が行われた。

	<p><担当者のコメント></p> <p>・本年度実施予定の各種市場調査によるデータ収集が着実に進行している。調査集計と分析は充分に行われており、それらのデータをいかにブランド育成につなげるかが課題である。</p>
11.	<p>佐伯商工会議所(「世界一・佐伯寿司」海外展開プロジェクト)</p> <p><今月の事業実施状況></p> <p>10月2日 第3回ワーキング会議 第1回海外調査の報告を行った。また、商品開発計画、第3回国内調査および第2回海外調査の調査計画を中心に、今後の事業の進め方について検討した。</p> <p>10月17日 商品開発検討会 別府大学の村田先生をアドバイザーとしてお招きし、プロジェクトで開発中の「りゅうきゅう鯖寿司」について、試作と試食を行い、意見交換を行った。同時に、保存性を高めるための技術等について、村田先生に指導していただいた。</p> <p>10月24日～26日 第3回国内調査 対象:東京、福井 東京の流通関係者に、現在商品開発を進めている商品の試作品を事前にお送りして試食してもらい、訪問して感想や意見をヒアリングした。福井では、鯖寿司のWeb通販で全国一の売上を実現していると思われる「日本料理菘」を訪問して、オーナーに販売手法等についてヒアリングを行った。</p> <p>10月27日～31日 第2回海外調査 対象:ドバイ 寿司店出店に向けて、アライアンスパートナーとなってくれそうな感触のあるホテル事業者と面談を行った。その後、在ドバイ日本総領事館、ジェットロ等を訪問して、ドバイでのビジネス契約や従業員雇用の法的な環境を中心にヒアリングを行った。また、現在ドバイの郊外で開発が進んでおり、世界中の医療研究機関が立地するメディカルシティを訪れ、寿司店出店の可能性について、現地の管理者と協議を行った。</p>
	<p><担当者のコメント></p>
12.	<p>東村商工会(沖縄県・東村「やんばるの東」ブランド構築および拡張プロジェクト)</p>
<p>平成20年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告 ブランド確立支援事業(2年目)案件:2008年10月分</p>	
番号	実施団体名/今月の事業実施状況/担当者のコメント
1.	<p>宮城県商工会連合会(NARUKOブランドプロジェクト)</p> <p><今月の事業実施状況></p> <p><担当者のコメント></p>
2.	<p>伊達市商工会(JFK ジャパンニットブランドプロジェクト)</p> <p><今月の事業実施状況></p> <p><担当者のコメント></p>
3.	<p>足利商工会議所(足利幕府”プロジェクト)</p> <p><今月の事業実施状況></p> <p>○10月4日「ほぐし」に関する打ち合せを行なう。 経過/伊勢崎市の島田加工にある「ほぐし」の機械移設に伴う打ち合せを行なう。 結果/ほぐしの機械を移設することは、可能。しかし、そのまま使用することは鶴貝氏のところにある染色台にはサイズが合わないので何らかの方法で加工をしなくてはならない。 2月までには遅くとも試作品を完成させなくてはならないので、今機械を移設してから作業に入るといふことになると時間的に間に合わないし、違う環境(足利)で行なうこととなると失敗する可能性もある。 そこで、まずは、機械を移設する前にこの現地で「ほぐし」で染めてしまったほうが、確実に試作品が</p>

完成できると考えられる。

今後/ほぐしでやるにこと関しては、どのような柄でどんな糸ですすめたらよいか早急に決めることとなった。

○10月25日ちちぶ銘仙館を視察する。

経過/今回の視察の目的は、「足利銘仙のデータベース化」を行なうため、そしてベース化した後の活用方法を検討するために計画。午前8時足利市出発。ちちぶ銘仙館において毎年恒例である秋の銘仙館まつりを開催されていることから見学。その他見学先として、秩父まつり会館や地場産業センター等視察。

①視察の視点

JAPANブランド事業の取組の一つである「足利銘仙のデータベース化」をすすめるため、またデータベース化した後の活用方法についての調査・研究を視点とした。

②結果

銘仙館では、秩父銘仙の染織り体験や展示・販売、現在、過去を紹介している。毎月第2土曜日は、すべての設備が稼働し、繭から秩父銘仙になるまでの工程を見学できる。秩父銘仙の歴史技であるほぐし捺染による展示物や銘仙の歴史がわかる展示室、展示直売コーナーを設けているなど、今後の足利銘仙データベース化に参考となる資料館であった。

③その他

今後、銘仙に関する情報として、桐生市にある「桐生織塾」という銘仙のコレクションをしている武藤氏のところへ行けばかなりの銘仙があることを知り得た。(基本的には毎週金・土曜日に公開)

<担当者のコメント>

4. 甲府商工会議所(ジュエリー産地山梨・産地ブランド「Koo-fu」プロジェクト)

<今月の事業実施状況>

第6回委員会

日時 平成20年10月1日(水) 午後2時

場所 甲府商工会議所 4階401会議室

内容 ①3部会状況報告

②その他

第7回委員会

日時 平成20年10月30日(木) 午後1時30分

場所 甲府商工会議所 4階401会議室

内容 ①3部会状況報告

②その他

第3回広報イベント部会

日時 平成20年10月9日(木) 午前10時30分

場所 ジュエリー協会 会議室

内容 ①「Koo-fu プロジェクト」に関する広報・イベント検討

②その他

第4回広報イベント部会

日時 平成20年10月28日(火) 午前10時00分

場所 ジュエリー協会 会議室

内容 ①「Koo-fu プロジェクト」に関する広報・イベント検討
(雑誌ミセス3月号への掲載事業報告)

②その他

第4回商品開発部会

日時 平成20年10月10日(金) 午前10時30分

	<p>場 所 ジュエリー協会 会議室</p> <p>内 容 ①「Koo-fu プロジェクト」に関する商品開発関連 検討</p> <p>②その他</p>
	<担当者のコメント>
5.	静岡商工会議所(「NIPPON SENSE プロジェクト」)
	<p><今月の事業実施状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ●10月10日(金)「パリ三越エトワール販売戦略会議」甲賀プロデューサー、参画事業者(DCSCORP)、事務局、計3名出席 ●10月16日(木)「メゾン・エ・オブジェ出品者説明会」事務局2名出席 ●10月24日(金)「第2回ワーキング委員会」開催 <ul style="list-style-type: none"> ・「パリ三越エトワール」、「メゾン・エ・オブジェ」の輸送手順、搬入・搬出等について説明。 ・当プロジェクトのデザイナー セルジオ・カラトローニ氏による試作品のチェック ・メゾン・エ・オブジェに出展する作品の選定(10～20点) ●10月30日(木)「パリ三越エトワール」、「メゾン・エ・オブジェ」出品家具の撮影 <p><今後の予定></p> <ul style="list-style-type: none"> ●11月27日(木)「第2回推進委員会」開催 <ul style="list-style-type: none"> ・委員長の選任、今後の計画、国際見本市出展作品の紹介など ●メゾン・エ・オブジェの出品カタログ作成 (12月中旬)
	<p><担当者のコメント></p> <p>参画事業者、県家具工業組合と下記の展示会に出品が決定、出品準備を進めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「メゾン・エ・オブジェ2009」の出展 開催期間:平成21年1月23日～27日 ・日本商工会議所主催の「パリ三越エトワール展示商談会」の出展 開催期間:平成21年1月21日～25日
6.	豊橋商工会議所(『三河つくだ煮』ブランディング事業』)
	<p><今月の事業実施状況></p> <p>10月3日(金)第11回三河つくだ煮ブランディング推進委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 10月8日(水)第12回三河つくだ煮ブランディング推進委員会 ● 10月10日(金)豊橋商工会議所 定例記者会見(新商品発表) ● 10月17日(金)第13回三河つくだ煮ブランディング推進委員会 ● 10月24日(金)第14回三河つくだ煮ブランディング推進委員会 ● 10月30日(木)、31日(金)「三遠地域連携推進フォーラム企業PR展」に出展 <p>当ブランディング事業として初めての新商品「三河つくだ煮セット」(青箱、赤箱)が完成し、今月前半の委員会では、発表、発売の準備を行い、10日の記者会見で発表した。後半の委員会では、10月、11月の展示会出展の準備を中心に検討した。</p>
	<p>今年度事業の主要項目の一つである新商品「三河つくだ煮セット」が完成し、10月10日開催の当所定例記者会見において発表し、合わせて食品関係の業界紙(6紙)にも発表した。また、10月30、31日の企業PR展に新商品「三河つくだ煮セット」を出展したが、展示のみで規模も小さく、本格的な展示会は11月以降となる。</p>
7.	瀬戸商工会議所(瀬戸・究極のせとものプロジェクト)
	<p><今月の事業実施状況></p> <p>瀬戸地域ブランド委員会作業部会…10月21日に第5回作業部会を開催し、専門家の田中章雄氏にアドバイスを頂きながら、「陶製ビアカップ」事業の商品充実を図るためのオートクチュールプロジェクトの進め方、お茶プロジェクト・瀬戸基準プロジェクトのそれぞれの進捗状況、11月14日～18日に開催される「ドームやきものワールド」展示会の出展内容(ブース設計、消費者調査の内容)、開発</p>

	<p>商品の形状とデザインの検討をした。</p> <p>事業者会議…10月6日に第8回事業者会議を開催して、11月に開催される「ドームやきものワールド」および「名古屋学院大学陶磁器イベント」の出展内容やブース設計、お茶プロジェクトと瀬戸基準プロジェクトの意見交換を実施した。</p> <p>お茶プロジェクト…10月9日、28日に自主打合せを開催し、デザイン案からの3種類の茶器の試作品制作と11月に開催される「ドームやきものワールド」の展示方法や消費者ニーズアンケートの内容について検討した。</p> <p>瀬戸基準プロジェクト…10月3日、17日に自主打合せを実施し、「ドームやきものワールド」と「名古屋学院大学陶磁器イベント」展示会出展の内容と消費者アンケートなどについて検討した。</p> <p>その他…カーサブルータスに「陶製ビアカップ」掲載。Touch!JAPAN BRAND Exhibition at Rinに「陶製ビアカップ」出品。「事例で学ぶ！地域ブランドの成功法則33」(光文社)に事業の取り組みについて記事掲載。</p>
	<p><担当者のコメント> 今月は、来月開催される「ドームやきものワールド」での出展と今後の事業に役立てるための消費者アンケートの作成を実施した。</p>
8.	<p>蒲郡商工会議所(「enn」ブランド育成プロジェクト)</p>
	<p><今月の事業実施状況></p> <p>H20.10.4(土)テックスビジョン2008ミカワの三河JAPANブランド打合せ 於:今野デザイン事務所(東京都) 専門家メンバー3名事業遂行打合せ(杉山哲三・今野文雄・佐口昌司氏) メゾン・エ・オブジェ展のスライド・セミナーのレゾメ作成。 リーフレット内容およびアンケートについてのミーティング。 寝装商品用の帯ラベルのデザインチェック。製品ファブリックの仕上がりチェック。 展示演出ツール選定及び最終チェック。11月のライフスタイル展に出展する内容についてのミーティング。</p> <p>H20.10.10(金)JAPANブランド育成支援事業打合せ 於:蒲郡商工会議所 専門家メンバー3名事業遂行打合せ(杉山哲三・今野文雄・佐口昌司氏) 「テックスビジョン2008ミカワ」開催。三河JAPANブランド出展(求評会の実施)。 メゾン・エ・オブジェ展トレッドセミナーの実施。 三河JAPANブランドのパンフレット作成のためのファブリックのイメージ写真撮影。 パンフレットに載せる撮影用の生地カット。</p> <p>H20.10.29(水)打合せ 於:今野デザイン事務所(東京都) 専門家メンバー3名事業遂行打合せ(杉山哲三・今野文雄・佐口昌司氏) 「テックスビジョン2008ミカワ」開催時に三河JAPANブランド出展において実施のアンケート集計についての打合せ。 11月のライフスタイル展に出展する内容についてのミーティング。 製品ファブリック・寝装品・小物製品などの演出・陳列のチェック。 展示演出ツール演出・陳列チェック。 アンケートの作成。DMハガキの作成。</p>
	<p><担当者のコメント></p>
9.	<p>大野商工会議所・勝山商工会議所()</p>
	<p><今月の事業実施状況> 10月23日 醗酵研究会の開催 よこて発酵研究所の谷金彌氏を招聘し、「発酵を活用した新商品開発」についてアドバイスを受ける。</p>

	<p>10月23日 検討委員会の開催</p> <p>(1)各事業別実施計画について</p> <p>各事業担当者より事業別の取り組み・進捗状況について説明を受け確認を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品開発への取り組み提案があり開発を進めていくこととなる。 ・キャッチフレーズ募集状況について報告があり、1次審査と2次審査の開催日を決定する。 ・展示、出展事業について <p>地元展示会と福井市と行う展示会の開催に向けての確認を行う</p>
	<p><担当者のコメント></p>
10.	<p>鯖江商工会議所(漆の伝統工芸品「REAL JAPAN ブランド」)</p>
	<p><今月の事業実施状況></p> <p>(1)国内調査</p> <p>10月3日に輪島へ行き、広報活動のための写真撮影や試作品に関する調査及び打ち合わせを実施した。</p> <p>10月11日に輪島に行き、試作品に関する調査及び打ち合わせを行う。</p> <p>10月20日に大津及び京都、小浜に行き、試作品の説明用兼パンフレット用の写真撮影を行った。</p> <p>また、試作品に関する打ち合わせを実施した。</p> <p>「産地選抜伝統工芸士の技プロジェクト」も順調に進行中。</p> <p>(2)展示会予定(10月末現在)</p> <p><国内展示会> ・日時:平成21年1月6日(火)～9日(金)</p> <p>場所:福井県県民ホール(福井県)</p> <p><海外展示会> ・日時:平成21年1月20日～2月10日</p> <p>場所:ドイツの美術館及びギャラリー</p>
	<p><担当者のコメント></p> <p>今月は、試作品の進捗管理を重点に実施しました。また、24日には金沢で開催された「JAPANブランド・フォーラム in 金沢」に参加し、先進事例や講演などからブランド確立にかかる支援のポイントを学びました。特に、“デザインの介在”がブランド確立にとって重要な成功要因であることを再確認しました。その中で「REAL JAPAN」ブランドの推進にとって以下のことなどが今後必要かと感じました。1.海外流通チャンネルに対応するため、ディストリビューターや代理店などの販売パートナーの確保。2.H・P等の紹介ツールの作成。3.ブランド知的財産の管理。</p>
11.	<p>南あわじ商工会(淡路瓦の技術力を活かした「エコ瓦」の開発と世界ブランドの創出)</p>
	<p><今月の事業実施状況></p>
	<p><担当者のコメント></p>
12.	<p>鳥取県商工会連合会(INABA(因幡)ブランド新商品開発プロジェクト)</p>
	<p>10月18日、19日の2日間、とりぎん文化会館で開催された「とっとり産業技術フェア2008」にINABAブランド「仕切り」シリーズのなかから「WA・SAKYU」「nami」「SUKASHI」を展示。</p>
13.	<p>内子町商工会(五十崎和紙「Ja Gue Na」和紙を使った生活空間の提案)</p>
	<p>◎ガボープロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトに必要な作業環境、器具・機材等を、購入・作製・取り寄せながら、地域の職人との交流を広げつつ、制作作業が行われている。 <p>◎各種展示のための準備等、PR活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Touch! JAPAN BRAND への出展(キューブ・タペストリー)

会場: Rin(東京都港区北青山)

期間: 10月30日(木)~11月3日(月)

(終了後、JAPANブランドExhibition in Parisへ、品物を出展予定)

・mono-log「メイドインジャパン」(10月3日発行)への情報掲載

・TEPCO銀座館 JAPAN BRANDイベントへの出展準備

会場: TEPCO銀座館(東京都中央区銀座)

期間: 11月13日(木)~12月23日(火)

・中小企業総合展への展示準備(他プロジェクト出展への協力)

会場: 東京ビッグサイト(東京都江東区有明)

期間: 11月26日(水)~11月28日(金)

展示会や、マスコミ等への露出が増え、国内外を問わず、問合せ・事業所への購入希望の連絡が入るようになりつつある。

14. 香美市商工会(土佐打刃物 JAPAN ブランドプロジェクト)

・10月23日に日大阪商工会議所の主催で行われる「買いませ！売れ筋商品発掘市」に参加し、(株)京阪百貨店、

(株)高島屋、(株)ロフト、(株)近畿百貨店の担当者と面談する。(こつれと言った成果を得る事が出来ず)

・火床の認定商品として「くじらないふ」を認定する。

・カスタマイズ包丁「誂(おあつらえ)」のパンフレットを検討する、1500枚ほど印刷する事とする。

・郵送リストの検討を行なう

15. 大木町商工会(国産い草を使った花ござブランド創生プロジェクト)

平成20年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告 ブランド確立支援事業(3年目)案件:2008年10月分

番号 実施団体名/今月の事業実施状況/担当者のコメント

1. 札幌商工会議所(スイーツの街・札幌 ブランド発信事業)

<今月の事業実施状況>

<担当者のコメント>

2. 盛岡商工会議所(南部鉄器フォー・ユーロ・ブランディング事業)

<今月の事業実施状況>

10/14(火)、ミーレ・ジャパン(株)ショールーム「Oasis」にて、本事業開発試作品「JAPAN BRAND NANBU TEKKI PRO ARTE SERIES 2008」19 アイテムについて、国内デザイナー・レストランシェフ・雑誌編集者・ジャーナリスト等を専門家として招聘し、製品評価会を開催した。



<担当者のコメント>

3. 泉佐野商工会議所(「大阪:泉州タオル・泉州こだわリタオル」ブランドでの市場浸透)

<今月の事業実施状況>

10月は、泉州こだわリタオルの試作推進と、展示会に向けた各種の打合せ手配を行った。試作状況として、尾原専門会員と随時試作者との内容調整と共に大阪タオル工業組合内において、試作各社との状況確認のうえ、10月末に概ね仕上がった。また、展示会準備は、案内状とポスターの作成(デザイン・印刷)のうえ、各種発送や掲示手配を行った。

10月22日~30日 トルコ市場調査

	森専門家委員、金野委員により、トルコの市場調査を実施。 トルコは、欧米のタオル生産拠点となっており、生産工場の現状、市場の調査などを実施した。
	<担当者のコメント> 各社の試作状況が大変気になるところであったが、日程的にも、内容的にも概ね満足のいくものになっている。
4.	神戸商工会議所(神戸ブランドMeets上海)
	<今月の事業実施状況>
	<担当者のコメント>
5.	今治商工会議所(今治タオル プロジェクト)
	<今月の事業実施状況> 今治タオルメッセ2008に出展 日 時 平成 20 年 10 月 17 日(金)～19 日(日)10:00～17:00 場 所 テクスポーツ今治 大ホール <今治生まれの白いタオル> 23社 <地球環境にやさしいタオル> 18社 194点 <タオルライブラリー> 22社 3,000点
	<担当者のコメント>
6.	広川町商工会(新風久留米緋ブランド化事業)
	1. 実行委員会を3回開催し、下記の事業の具体的実施について協議。 ・ 全国キャラバン展示会(東京キャラバン11月・12月実施) ・ 海外(パリ)展示商談会(三越エトワール、WHO'S NEXT) 2. セールスフォースとの打ち合わせ(10月11日)
	事業計画に沿って事業実施中である。今後の展示会実施等スムーズに行なえるよう確認ができた。 また、それぞれの成果を共有し目標に向け意識の統一ができてきている。
平成20年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告 先進的ブランド案件:2008年10月分	
番号	実施団体名/今月の事業実施状況/担当者のコメント
1.	弘前商工会議所(世界へ発進!津軽『うるおい、うるわし』事業プロジェクト)
	<今月の事業実施状況>
	<担当者のコメント>
2.	山形商工会議所(山形発「カロツェリア型ものづくり」の世界ブランド展開)
	<今月の事業実施状況> メゾン・エ・オブジェへ向けて、各企業とも試作品の製作中であり、指導専門家である奥山清行氏が企業訪問し、試作品開発の打合わせを行った。 ・県内で、メゾン・エ・オブジェ出展製品の写真撮影1回目を行った。
	<担当者のコメント>
3.	会津若松商工会議所(BITOWA from AIZU)
	<今月の事業実施状況> <委員会開催関係> 【運営委員会】

- 10/6 ① 商品開発について
プロデューサーとの協議結果報告
試作品製作状況及び今後のスケジュール等確認
プロデューサー&デザイナー打合せ会議スケジュール確認
- ② 展示会出展等について
TOUCHI ! JAPANBRAND 展示会(10/30-11-3)概要説明
東京電力 TEPCO 銀座館展示会(11/13-12/23)展示品発送スケジュール等確認
インテリアライフスタイルリビング出展(11/19-22)ブース場所決定等報告
- ③ その他協議・報告事項
メゾン・エ・オブジェ出展者説明会(10/16)出席者決定
会津大学短期大学部「シンポジウム」(9/27)開催報告
角川ザ・テレビジョン「mono-log」創刊号(10/3)記事掲載報告
- 10/14 ① 商品開発について
本年度商品ラインナップ(案)についてプロデューサーとの協議結果報告
試作品製作状況及び今後のスケジュール等確認
プロデューサー&デザイナー等打合せ会議協議事項・出席予定者確認
- ② 展示会出展及び取引等について
The COVER NIPPON「全国伝統工芸品展」出品経過報告
ジャパン漆サミット(10/24)・会津ものづくりフェア(10/25・26)準備状況等報告
インテリアライフスタイルリビング出展(11/19-22)案内送付及び広報関係等確認
TOUCH ! JAPANBRAND 展示会(10/30-11-3)展示品等確認
メゾン・エ・オブジェ出展者説明会(10/16)報告
商品取扱店の今後の取引方法について確認
- ③ その他協議・報告事項
Casa BRUTUS11月号(10/10)記事掲載報告
- 10/17 ① プロデューサー&デザイナーとの商品開発等について打合せ
新商品及びリニューアル試作品をプロデューサー&デザイナーが確認し、カラー、形状等修正箇所について協議
今後の事業展開及びスケジュール等について協議、次回開催予定を決定
- 10/20 ② 商品開発について
試作品製作状況及び今後のスケジュール等確認
プロデューサー&デザイナー等打合せ会議協議事項及び出席者等確認
- ③ 展示会出展及び取引等について
メゾン・エ・オブジェ出展(1/23-27)ブースデザイン・施工及び輸送等確認
商品取扱店の今後の取引方法変更内容等確認
東京電力 TEPCO 銀座館展示会(11/13-12/23)での販売代理店との連携について確認
インテリアライフスタイルリビング出展(11/19-22)ブースデザイン・施工及び準備等確認
会津ものづくりフェア(10/25・26)出展スケジュール等確認
- ④ その他各種依頼等について
タイアップ企画提案及び展示会出展依頼について説明
各種調査・会議出席依頼について説明
明治大学学生調査結果報告

10/27 ① 商品開発について

□試作品製作状況及び今後のスケジュール等確認

□プロデューサー&デザイナー等打合せ会議協議事項及び出席者等最終確認

② 展示会出展関係について

□東京電力 TEPCO 銀座館展示会(11/13-12/23)展示品・発送スケジュール等最終確認

□TOUCHI! JAPANBRAND 展示会(10/30-11-3)展示品等発送について報告

③ その他各種依頼等について

□日商海外展示会実施計画について説明

□PR 記事掲載原稿確認

□タイアップ企画提案協議結果報告

<展示会・広報関係>

<会津ものづくりフェア出展> 10月25・26日(土) 会場:あいづドーム(会津若松市)

来場者:24,000人(2日間延べ)

事業成果:地域ものづくりの育成支援及びPRイベントに出展。地域住民に支援頂き更なる販路拡大に繋げるため、地域資源を生かし、地域活性化を図る新たな本事業取り組みを、県内外の多数の来場者に周知した

<ジャパン漆サミット> 10月24日(金) 会津若松ワシントンホテル

事業成果:本市で開催した全国漆器産地サミットにおいて、新たな事業取り組み事例として当プロジェクトについて運営委員会委員長より発表した

<角川ザ・テレビジョン「mono-log」創刊号記事掲載(10/3発行)>

<Casa BRUTUS 11月号記事掲載(10/10発行)>

【11月展示会出展予定】

<JAPAN ブランドとオール電化コラボ展示会「つなぐ～進む日本のライフスタイル」>

日時:11月13日(木)～12月23日(火)10:30～18:30 会場:東京電力 TEPCO 銀座館

<インテリアライフスタイルリビング>

日時:11月19日(水)～22日(土)10:00～18:00(22日:17:00まで) 会場:東京ビックサイト

<担当者のコメント>

4. 川口商工会議所(KAWAGUCHI i-mono)

<今月の事業実施状況>

1. ①事業打ち合わせ

日時 10月9日(木)午後3時～午後5時

会場 川口商工会議所打ち合わせ室

出席者 事務局、他3名

内容 事業進捗状況について

- ・マーケティング戦略(手法、重点ポイント等)及び流通戦略の検討
- ・価格設定や生産・販売体制、試作品(デザイン)に関する課題の抽出
- ・ターゲットユーザーの絞込みなどのブランド戦略の検討

②事業打ち合わせ

日時 10月23日(木)午前10時～正午

会場 川口商工会議所会議室

出席者 事務局、他2

内容 デザイン改良について

2. 第2回小委員会

日時 10月14日(火)午前10時～正午
会場 川口商工会議所会議室
出席者 事務局、他5名
内容 ・新アイテムの確認
・ブランド戦略・展示会・広報等について

3. 第4回委員会

日時 10月27日(月)午前10時～正午
会場 川口商工会議所会議室
出席者 事務局他 13名
内容 ・事業推進状況(販売活動実績・市場調査報告)について
・新アイテムの最終確認
・ブランド戦略・展示会・広報等について

4. パンフレット用レシピ撮影

日時 10月30日(木)午前10時～午後3時
会場 越谷市
出席者 委員2名
内容 ・新アイテム商品と新レシピについてのパンフレット撮影

<担当者のコメント>

新アイテム完成により商品の種類が豊富になり、PRもしやすくなった。

新アイテム (下記参照)



HOTPAN 19(新)
HOTPAN 19 Sh(新)
HOTPAN 23 Sh(新)

HOTPAN 15 Sh(新)



FRYPAN 26(新)

FRYPAN 24(新)

FRYPAN 28(新)



5. 燕商工会議所(「enn」ブランド育成プロジェクト)
<p><今月の事業実施状況> にいがた産業創造機構は、イギリス・ロンドンの日本レストランショールームに、11月1日から3月31日、「百年物語」を展示する。燕商工会議所は、その一部を借り「enn」ブランドを展示し、委託による市場調査を実施する。委員会メンバー2社が、現地で製品展示と事前打ち合わせを行った。</p>
<p><担当者のコメント> 「enn」ブランドの商標と著作権について、燕商工会議所とデザイナー、燕商工会議所と参加企業の間を明確するための作業を行っている。</p>
6. 加茂商工会議所(桐を中心とした加茂木エブランドの海外市場販路確立プロジェクト)
<p><今月の事業実施状況></p>
<p><担当者のコメント></p>
7. 富士吉田商工会議所(『プロジェクト Fuji Façonné(フジファソネ)』)
<p><今月の事業実施状況> 9月に開催した TISSU PREMIER 展でピックアップをもらったバイヤーに対し見本を送るなどのフォローを実施。 また、次回の1月展にむけて事業委員会において協議し、方策を検討。 イタリアへの展開として、ジェトロミラノ展への出展を検討し、出展申し込みをした。</p>
<p><担当者のコメント> 今回の9月展での商談においては、今のところ具体的な取引にはつながっていないが、以前の出展から、有名ブランドへの販売が決まり出荷に至っている。 1回の展示会での提案が即具体的な取引に至るケースはまれで、粘り強い商談が必要といえる。</p>
8. 一宮商工会議所(JB(ジョイント・尾州))
<p><今月の事業実施状況></p>
<p><担当者のコメント></p>
9. 高山商工会議所(『飛騨春慶のある生活提案』によるブランド育成事業)
<p>1. 10月25日メゾン・エ・オブジェの主催者のトップであるコシェ氏が来日されたので、総合プロデューサーの佐戸川清とグループ代表者北村齊氏が東京で面会し、Re-mix Japan の会場が下記のとおり決定した。 Hall:1 Sector:ETHNIC CHIC MIC Type of stand:NU Surface:90sq. m. 9m×10m Corners:2</p> <p>2. 会場が当初予定で81㎡ではなく90㎡で決定したため、急遽、平面配置図を変更し、什器(和紙行灯壁面等)及び商品の一部の配置・追加の修正手配を実施した。</p> <p>3. 10月24日～26日に飛騨・世界生活文化センター(高山市)において、「秋の文化・産業フェスティバル」に「Re-mix Japan 凱旋展」を開催した。県外のお客様を含めて多くの方々に見ていただき、好評のうちに終了した。その機会を利用し、グループメンバーが集い、佐戸川清氏を囲み商品開発の進行状況や今後のスケジュール調整等の確認ができた。またメンバー全員で搬入搬出・陳列作業を体験して現地パリでの模擬練習を兼ねてお互いの作業分担と役割を確認することができた。</p> <p>4. 国際漆展・石川 2009 の作品公募に、Re-mix Japan の春慶塗家具ジュエリーボードを出品した結果、 「審査員特別賞山村真一賞」を受賞したことの通知が来た。来年1月に展示・表彰される。</p> <p>・会場が決定したことで、各メンバーが自分の役割を果たすことに集中して目的に向かっていく状況が見えるようになりました。こんどこそはという意欲的な思いが伝わってまいります。</p>
10. 輪島商工会議所(WAJIMA ブランド展開)
<p><今月の事業実施状況> 10月2日(木) 輪島発 ロンドン着</p>

10月3日(金)	MITSUBISHI 開発地区視察 MITSUBISHI ESTATE ヨーロッパの輪島塗の評価等について今後の展開についての助言 西原氏のコーディネートの下ロンドン市内の主要ショップを訪問 SO Restaurant にて、jalux 営業開発担当 と商品陳列について打合せを行った。
10月5日(日)	パリへ移動
10月6日(月)	パリ日本文化会館 (Maison de la culture du Japon à Paris) 三越エトワール 訪問 館長 山田裕隆 氏
10月8日(水)	ジェトロ・パリ・センター 訪問し、フランスの市場について及び今後の展開についての助言 次長 田熊 清明 氏
10月9日(木)	輪島着
10月22日(水)	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング社にて、パリ商談会についての打合せを行った。
10月31日(金)	新・再発信分科会を開催し、パリ商談会へ参加する事業所についての打合せを行った。
<担当者のコメント>	
11. 山中商工会 (YAMANAKA ブランドの確立)	
<今月の事業実施状況>	
<担当者のコメント>	
12. 能登町商工会 (『能登の醸し』ブランド発信事業)	
<p>■専門委員会の開催:世界No.1魚醤の基準等について策定検討した。</p> <p>■市場調査:JAPAN ブランド・フォーラム in 金沢に出席し、地域資源を活かした商品開発の過程や課題を学んだ。</p>	
「いしり」を含めた、かけがえのない文化資産を記録精度が高く、映像再現性に優れたデジタル映像の形で保存・蓄積、次世代に継承していくことは重要です。それと同時に、インターネットなどを通して、世界中の人々が自由に閲覧できるような仕組みを構築したいと考えます。	
13. 京都府商工会議所(KYOTO PREMIUM)	
<今月の事業実施状況>	
<担当者のコメント>	
14. 淡路市商工会 (~Kosai Aroma~ 香りの文化を演出し「あわじ島の香司」ブランドの確立)	
<p>◎試作品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香木ストラップ 香木(白檀)を使った携帯用ストラップの試作品の作成に取り掛かる。香木を 1.5cm×2cm に成型し、中央部に「あわじ島の香司」ロゴマークを刻印する。併せて原材料費等の見積を業者に依頼する。 <p>◎広 報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産地及び香司 PR 用パンフレットの作成 海外の展示会に出展するに当たりバイヤーに他国産商品等との違いをアピールする必 	

要があるので、現在作成している英仏版のHPやパンフレット等に加えて、香司各社の紹介と共に日本一の産地や歴史的な背景を日本語版と英仏版で構成する。

◎展 示 会

・あわじ島の香り展 10月1日(水)～10月31日(金)東京ミッドタウン「THE COVER NIPPON」

東京ミッドタウンにある『THE COVER NIPPON』において「消費者ニーズの把握」「売れる見せ方」「認知度向上」等を目的に1ヶ月間の展示会を開催。男女とも50代の年齢層が「あわじ島の香司」商品への関心が高かったことに対し、30～40代の年齢層には香司各社商品のセレクト分の中でも古風で渋めのものが受け入れられていた。

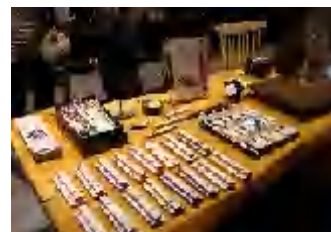
◎そ の 他

・「JAPAN ブランド・フォーラム in 京都」先進事例発表

10月30日(木)13:30～ ハイアットリージェンシー京都

～香りの文化を演出する～「あわじ島の香司」ブランドの確立

株式会社 大 発 代表取締役 下 村 暢 作 氏



都内で1ヶ月間展示会を開催した事によるPR効果はあったと思うが、バイヤーに比べて都内の一般消費者への認知度がまだまだ低い事もわかった。「あわじ島の香司」ブランドやそのモノの良さ、地域の魅力を最終消費者にどう伝えていく事が大事であり、今後このブランド価値が消費者に浸透すると各事業者の商品の付加価値も高まり、産地全体の活性化に繋がっていくと考えられる。

15. 松江商工会議所(NEW松江菓子)

<今月の事業実施状況>

9/13(土)～10/19(日)松江水燈路に合わせ堀川遊覧船に商品提供

10/2(木)、3(金)第43回全国観光土産品公正取引協議 会島根大会において山口委員長より「NEW松江菓子の海外展開事業について」プレゼン

10/6(月)実行委員会(出雲うまいもの大会打合せ、NY事業の今後について)

10/6(月)企画担当者会議(出雲うまいもの大会打合せ、NY事業について)

10/9(木)～10/14(火)一畑百貨店・「新 出雲うまいもの大会」新商品お披露目会

10/11(土)～10/19(日)松江開府400年祭・だんだん縁遊会「湖上茶会」に商品提供

10/12(日)、13(月)第21回しながわ夢さん橋2008・移動茶室イベントに商品提供

10/15(水)松浦松江市長の島根大学講演に商品提供

<担当者のコメント>

- ・ カタギリにおいて11月に新商品発表&販売会を開催する事を決定
- ・ カタギリ向けに新商品を中心とした船便での冷凍輸送を実施
- ・ 出雲商業高校の販売実習(出商デパート)での販売決定

16. 府中商工会議所(府中家具(Fuchu Furniture))

<今月の事業実施状況>

10月3日 アメリカで家具販売を手がけているセールスレップと府中家具の取扱と今後の展開についてミーティングを行う

10月21日 第1回海外市場調査の実施 調査先:ハイポイント展示会・ニューヨーク 他
～10月28日

10月29日・30日 アメリカで家具販売を手がけているセールスレップが府中家具参画事業所の工場見学

10月30日 第4回ワーキンググループ会議

○海外市場調査報告について

○ニューヨークの個展開催について

<その他>

	<ul style="list-style-type: none"> ・TEPCO銀座館におけるJAPANブランドをテーマとした展示イベント出展に係る商品・カタログ手配 ・第2回海外市場調査の準備 対象:ニューヨーク(11月17日~23日) ・IFFT/インテリア ライフスタイル リビング出展準備 (11月19日~23日/東京ビッグサイト) ・ニューヨーク個展の会場レイアウト・販売促進準備
	<p><担当者のコメント> ニューヨークの個展開催に伴い、アメリカの市場調査を実施する。また、全米で家具販売を行っている有力なバイヤーが来日し、府中家具の取扱について協議を行う。今後個展に向け、マーケティング方法を協議し、効果的な方法を協議し進める予定</p>
17.	大川商工会議所(大川家具)
	<p><今月の事業実施状況> 10月2日、3日 開発事業者、デザイナー、商社との協議を行う。 内容:新規開発商品の製品チェック、及び展示会レイアウトの確認を行う。 商品についての確認を行い、改良を加える商品については次のチェックの日程を確認する。 ケルン展示会へのスケジュールを確認し、船積みの日程、使用するコンテナのサイズを決定する。 今年度は、前年と比べて会場のスペースや展示商品が減少していることから20fコンテナを使用する。 カタログ作成のための写真撮影を10月下旬に行い、カタログレイアウトの協議を行う。 ケルン展示会のレイアウトに関して、専門のスタイリストを起用することを確認しその人選を行う。</p> <p>10月14日 ワーキンググループ会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度事業の進捗状況を報告。 ・販売施策について、広報施策について、ブランド施策についての協議を行う。 ・パリ三越エトワールでの展示についての報告 ・SAJICAのWEBを検討する。 <p>11月5日、6日にデザイナーとの最終協議を行うことを確認。</p>
	<p><担当者のコメント> 開発商品の検討がなされ、最終的な商品化が図られた。 また、展示会の設営工事、輸送スケジュール、航空チケット、ホテルの手配等についての協議を行い、最終的な確定を行う。</p>